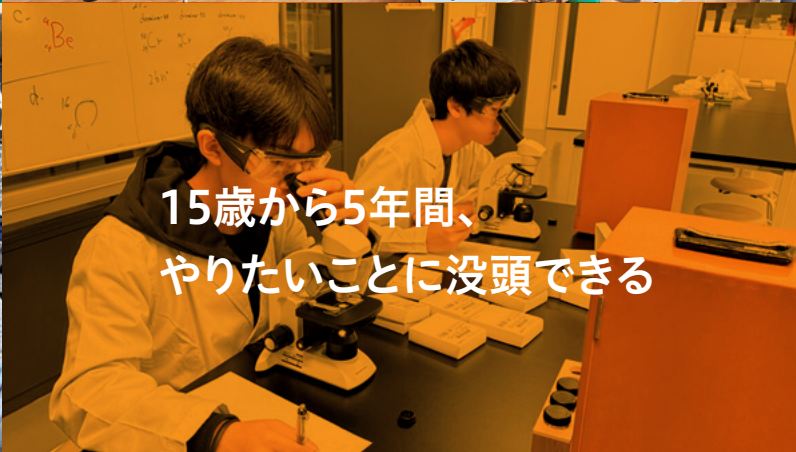
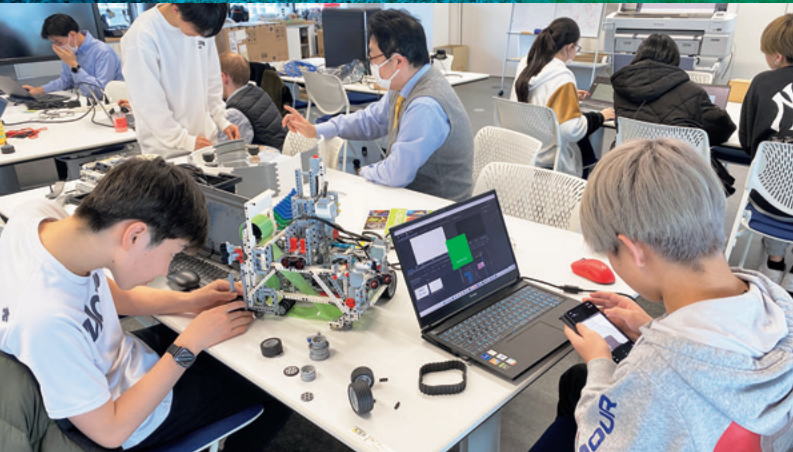




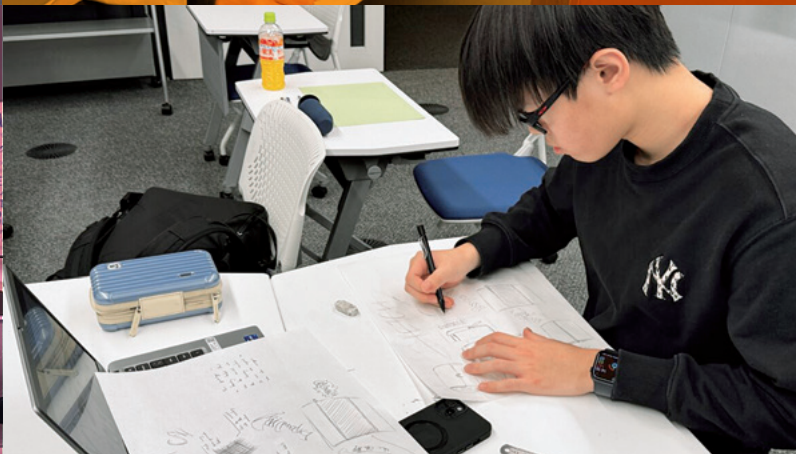
1年生、2年生は
全寮制で学ぶ



15歳から5年間、
やりたいことに没頭できる



英語で学び、
新たな価値を生み出す



ニュージーランドに
全員が1年間留学

SHINE IN YOUR OWN WAY
好きを学ぶ
国際高専 入学案内2026





達成感がある！

チームでロボコンに取り組んだ学生が言いました。
「仲間といっしょに作ったものが動いたときの達成感がすごくて、これを感じたら、ロボコンはやめられない」。
またプログラミングコンテストに取り組み、全国大会に出場し受賞した学生が言いました。
「仲間や先輩、先生方と一緒にひとつのプロダクトを完成させたときは、ものすごい達成感が得られた」と。

3つのキャンパスで自分らしく成長

国際高専では、1年生・2年生は全寮制の白山麓キャンパスで学び、3年生は全員1年間のニュージーランド留学をします。4年生・5年生は併設校の金沢工業大学と施設・設備を共有する金沢キャンパスで大学生とともに学び、研究活動を行います。
3つのキャンパスの特性を生かし、国際色豊かな教員や仲間たちと励ましあいながら、それぞれの個性を伸ばしていきます。

1年生・2年生 白山麓キャンパス



夏

3年生 ニュージーランド



4年生・5年生 金沢キャンパス



冬



学びが楽しい！

「英語をもっと勉強したいから」「ものづくりがしたいから」「1年間の海外留学に興味があったので」「新たなビジネスを考え、起業したいから」…。
国際高専の学生の入学動機はさまざまです。
でも、共通しているのは、学生同士がファーストネームで呼びあい、互いにリスペクトしながら、授業中や放課後も楽しい学生生活を送っているという点です。
仲間と一緒に失敗をおそれずにチャレンジし、新しい価値を生み出す達成感や楽しさ、喜びを感じられる学校。それが国際高専です。

グローバルイノベーターを目指す学びのPOINT

POINT 1 英語とテクノロジーの両方が学べる 国際高専のSTEAM教育

STEAM教育とは、Science(科学)、Technology(技術)、Engineering(工学・モノづくり)、Arts(芸術、リベラルアーツ)、Mathematics(数学)を関連させて学ぶ創造的な教育のこと。国際高専ではこれを英語で学び、国際社会で使える力に高めます。

POINT 2 アイデアをカタチにしていくワクワク感が体験できる エンジニアリングデザイン教育

あらかじめ用意されたゴールに向かって学ぶのではなく、学生自身が課題を発見し、アイデアをカタチにしています。テクノロジーやデザイン、データサイエンスを活用しながら、モノ・コトづくりを通して新たな価値を生み出すワクワク感が体験できる授業です。

1年・2年 全寮制の白山麓キャンパス

- STEAMを学ぶ
- デザイン思考を用いたユーザー視点での価値創出
- デジタルデータをもとに試作モデル(プロトタイプ)を作りながらより良い解決策を考える
- SDGsに取り組み地方創生

英語で学ぶ

日本なのにまるで海外。

いつの間にか、自然に英語が身につく



教員の約半数が外国人で出身もさまざま。留学しているような雰囲気です。



英語力を伸ばす仕組み

国際高専では2年生終了までに海外の大学進学レベルとされるIELTS5.5を目標としています。IELTS(アイエルツ)は、留学や移住に使われる英語熟練度を測る英語検定で、学内で年に1回、1、2年生全員が受験する機会を設けています。学生の習熟度はさまざまですが、授業や課外でのサポートを受け、ほぼ全員がスコアを大きく伸ばしています。中にはIELTS8.0を記録する学生もいます。

国際高専は、1年生から英語で、数学や物理、化学、IT、3Dモデリング、AI、ロボット工学を学ぶSTEAM教育と、新たな価値を生み出すエンジニアリングデザイン教育を特色としています。学生たちはユーザー視点から何が問題かを考え、生み出したアイデアはキャンパス内のMaker Studioにあるデジタルファブリケーション機器を駆使して具体化。新たな価値を生み出します。

地域は教材の宝庫

白山麓で学ぶ、触れる、楽しむ

白山麓キャンパスを起点として、地域の生きた課題に取り組みプロジェクトを立ち上げます。学生はこれらの活動を通して地域の人たちとの関わりを大切に、地域と共に成長します。

身のまわりや地域の課題に取り組む

1年生のエンジニアリングデザインでは校舎内やキャンパス内の温泉施設「比咩(ひめ)の湯」など、身のまわりにある課題を発見し、解決策としてプロトタイプ(試作モデル)を製作し、有効性を検証します。2年生ではキャンパスが立地する白山麓で直面している耕作放棄地やサルによる獣害の増加といった実社会の課題に取り組めます。学生たちは「アグリビジネス班」と「テック班」に分かれて活動。アグリビジネス班は校舎前の休耕田でサツマイモの紅はるかを栽培し、営業や販売、決算までのプロセスを通じて農業法人の経営ビジネスを体験します。またテック班は、AIやIoTを活用した獣害対策システムの開発に取り組めます。



自作お掃除ロボットをキャンパス内温泉施設で動かす



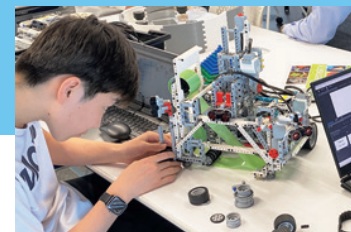
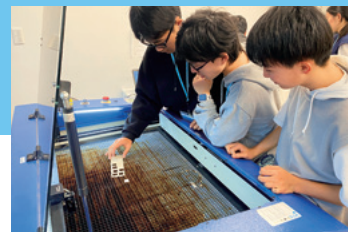
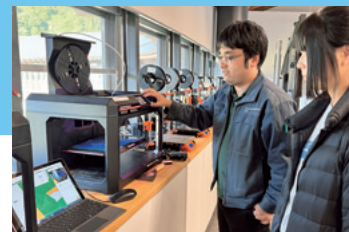
地域の方から操作を習い、畑を耕す



お店とコラボし紅はるかソフトを販売



獣害対策システムの開発

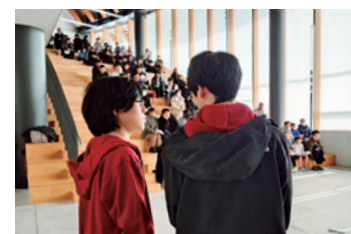


失敗は次への学び！ できることが増える楽しさ

15歳からいきなり理工系分野を学んでいくことに不安を感じる方もいらっしゃるかもしれません。でも安心してください。国際高専では、1年生から幅広く楽しみながら学ぶことを経験し、学生たちはやってみたいことを見つけています。



平日の夜2時間、外国教員のサポートで自主学習を行う「ラーニングセッション」



大階段を客席にプレゼンや発表が行われます

自由に使える
ものづくり機器が
いっぱい！



アクティビティ、イベントも満載

施設が充実 寮生活

豊かな自然環境の下、充実した設備の中で学生と教員が寝食を共にする寮生活を送ります。集団生活や地域の方々との交流を通して、思いやりの心やリーダーシップを育みます。



白山麓キャンパスは全寮制。寮は6人で1ユニット、寝室は個室。ユニットにシャワー設備がありますが、お風呂は多くの学生がキャンパス内にある「比咩の湯」(木曜休。国際高専の1、2年生は無料)を利用しています。

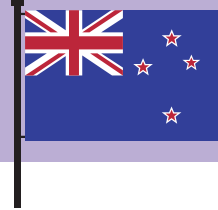


2月に開催される「白金祭」。課外で取り組んだプロジェクト活動の発表やバンド演奏、学内ロボコンなどが行われ、学外からも多くの来場者で賑わいます。



3年 全員がニュージーランドに1年間留学

- 世界中の学生と専門科目を共に学ぶ
- ホームステイ
- ニュージーランドでエンジニアリングデザインに取り組む



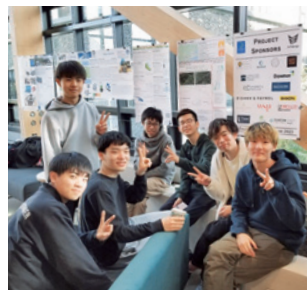
ニュージーランドへ 語学留学? いいえ、 専門を学び、世界の広さを感じ 将来への道を考える留学です

3年生は全員がニュージーランド・ダニーデン市にある国立オタゴポリテクニクへ留学し、世界中から若者が集まる環境で学びます。大学レベルの「数理工学」や「プログラミング」などの専門科目を現地学生のクラスで学びます。



ホームステイで 心身ともに成長する

現地での生活は地元の家庭にホームステイします。プロジェクト活動などさまざまなプログラムが準備されています。



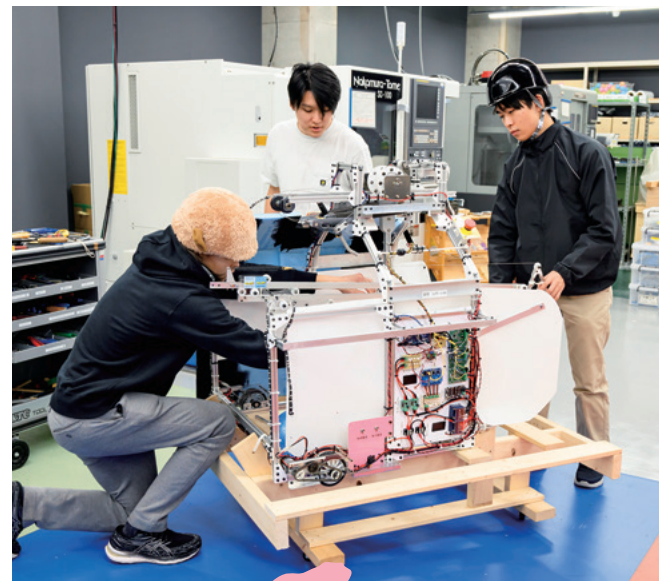
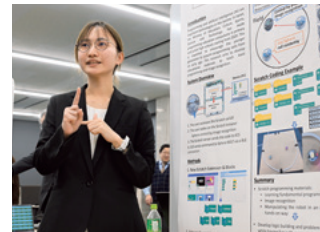
4年・5年 金沢キャンパスで専門を深める

- 施設・設備は併設校の金沢工業大学と共有
- 大学の専門授業も受けることができる
- 大学生と研究活動も
- 海外の企業で4カ月間実務経験「コーオプロジェクト」

専門をより深く

自由に学ぶための設備が充実の
金沢キャンパス

金沢工業大学と施設・設備を共有するキャンパスで、大学生や大学院生と研究やプロジェクト活動が行えます。4年生は金沢工業大学の研究室でのインターンシップを実施。英語で学会発表を行ったり、国内外のコンテストに参加したり、海外の企業で4カ月以上のインターンシップ(コーオプロジェクト)に参加し、英語での専門業務に従事する学生がいるなど、それぞれの「好き」に向かってアクティブに取り組んでいます。



コンテストに チャレンジ!!

日本全国の高専が参加するロボットコンテストやプログラミングコンテストに1、2年生から挑戦。4、5年生でさらに高度に。



高専ロボコン



5年生が所属する研究室



ラーニングコモンズ



Maker Studio



ICTジャーナル
金沢キャンパス



石川県

金沢キャンパス



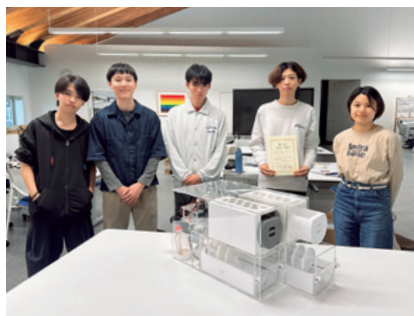
SHINE IN YOUR OWN WAY

好きを学ぶ

国際高専では、学生が生み出したアイデアをビジネスに結びつけられるよう、イノベーションや価値創造、ビジネス戦略に焦点をあてた「イノベーション基礎」などの授業も英語で行われます。授業や課外活動で学んだ知識や技術を生かして、学生は1・2年生の段階から、さまざまなコンテストやプロジェクトに参加し、それぞれの「好き」を追求しています。

高専プロコンに挑戦 全国大会で敢闘賞を受賞

高専にはロボコンのほかにプログラミングコンテスト、通称「高専プロコン」という熱き戦いの場があります。2024年10月開催の「第35回全国高等専門学校プログラミングコンテスト」に1、2年生5名が出場し、敢闘賞を受賞しました。「ICTを活用した環境問題の解決」という課題に対し「だすぼす - 農家と家庭をつなげる堆肥共有プラットフォーム-」のテーマで、生ごみを堆肥に変えるコンポストを自動化し農家と共有するプラットフォームを開発。イノベーションは異分野の結びつきで生まれます。学年を超えたさまざまなアイデアが出され、理工学だけでなくアートのセンスも生かし、おしゃれなプロトタイプが生まれました。



← 詳細は
こちらから

スタートアップを目指す ビジネスアイデアコンテスト

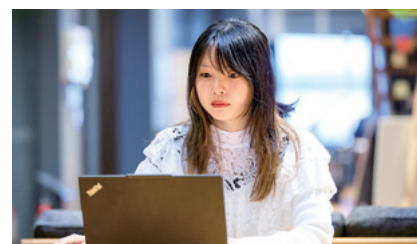
「ICT STARTUP COMPETITION」は、学生が独創的なビジネスアイデアを考え、英語で投資家役の審査委員に説明する“ピッチイベント”（スタートアップ企業が投資家に事業を説明するイベント。4、5分間という短い時間で行われる）。テクノロジーを駆使して新たなプロダクトやサービスを生み出し、それを国内外に展開するビジネスマインドの醸成を目指して国際高専の主催で開催しています。審査員はスタートアップ分野で活躍する国内外の専門家で、質疑応答も英語で行われます。2025年2月に行われた第2回大会には、国際高専のほか、タイ、ベトナム、マレーシアからの学生も参加しました。



← 詳細は
こちらから

※スタートアップとは
今までになかったビジネスや市場を新たに切り開き、短時間で成長が見込める企業やビジネスを指す。

好きをカタチに！ 先輩のチャレンジ



授業で学んだ3D CADソフトにはまり、Autodesk Learning Partner Fusion 360 学生デザインコンテスト2023で最優秀賞受賞



← インタビューは
こちらから



学生ビジネスアイデア・プランコンペティション「M-BIP」(2021年度)入選、飛行ロボコンマルチコプター部門(2022年度)で3位入賞



← インタビューは
こちらから

国際高専からの進路

卒業後は大学3年次に編入学する道が整えられています。大学受験を意識せず、5年間やりたいことに没頭できます。

中学校



卒業生の主な進学先

・金沢工業大学 ・東京海洋大学 ・ニューサウスウェールズ大学(UNSW Sydney)(オーストラリア) ・グラスゴー大学(イギリス)

